

新小山市市民病院ニュースレター Shin-oyama City Hospital News letter No.11

<http://www.hospital-oyama.jp/>

〒323-0028 栃木県小山市若木町1-1-5 ☎0285-21-3800 (代表)

病院長挨拶

結果が出なければ即退場

地方独立行政法人は、自治体が100%出資し、その運営と経営は法人自体に任せるという制度です。うまくできなければ、市長が法人の理事長を解任できます。この制度では、自治体が3-5年間(当院は4年間)の中期目標を提示し、その目標達成の為に法人自らが作成した中期計画を市に提出し、期限内に実施することが義務づけられます。法人は、市が依頼した有識者で構成する評価委員会で定期的にチェックされます。最終的には評価委員会から答申を受けた市が議会に法人の運営・経営に関する事項を報告し、議決される制度です。当法人では、この評価委員会の委員長に松岡会長、副委員長に佐田自治医大病院長、委員に河野県看護協会会長の方々などが就任されています。現在、中期計画の3年目ですが、この度2年目(平成26年度)の評価結果をいただきました。

病院事業の4つの大項目(1. 提供するサービスや業務の質の向上、2. 業務運営の改善、効率化、3. 財務内容の改善、4. その他の業務運営に関する重要事項)全てにおいて、B評価(計画通り進んでいる)でした。特に、積極的な情報発信や医療安全対策などについては、法人の自己評価を上回る評価をいただきました。病院の評価は、VWや東芝のような一般企業の決算を株主のために評価するのとは違い、市民病院が目指すべき病院機能の目標をどの程度達成したのか、あるいはそれに近づいているのかを判定するものです。患者数、稼働率、救急搬送件数、手術件数、紹介率、患者満足度、医師数、看護師数そして医業収益、コスト、収支など諸々の数値指標は、それらの結果であり、評価を裏付ける根拠となります。

このようなしっかりした評価の仕組みがあることで、法人を経営するものとしては「結果が出なければ、即退場」と自覚しています。「言い訳はせず」をモットーに、それをする暇があれば目標と現状のギャップを冷静に分析して、早めはや目に手を打つことを考える毎日です。

♪もういーくつ寝ると、新病院♪

平成27年12月

理事長・病院長 島田和幸

主なトピックス

病院機能評価を取得しました。

当院では、地方独立行政法人化した平成25年度より中期計画でも謳っております通り、「信頼性の確保」ということで目標の一つとして掲げておりました公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定について、平成27年5月に同機構による審査を受け、晴れて認定を受けることが出来ました。

認定期間は5年間となっており、更新していくには再度審査を受けなければなりません。その更新を繰り返すことでさらなる医療の質の向上が図られてけるよう努力していきたいと思ひます。

主たる機能:一般病院2

機能種別版評価項目 3rdG:Ver.1.1



「もの忘れ外来」診療日変更について

平成28年1月より、「もの忘れ外来」の診療日が、「水曜日午前」から「木曜日午前」に変更になります。また、もの忘れ外来は診療にたくさんの時間を要するため、1月以降は完全予約制となりますので、よろしくお願いいたします。



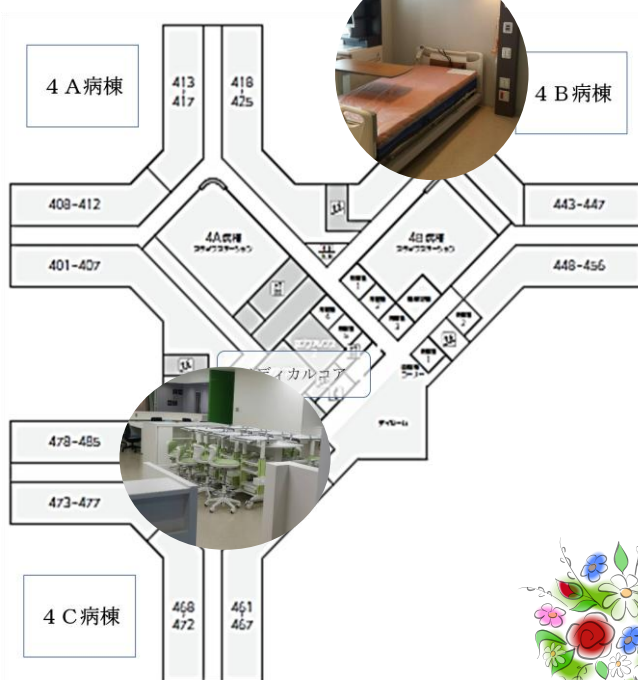
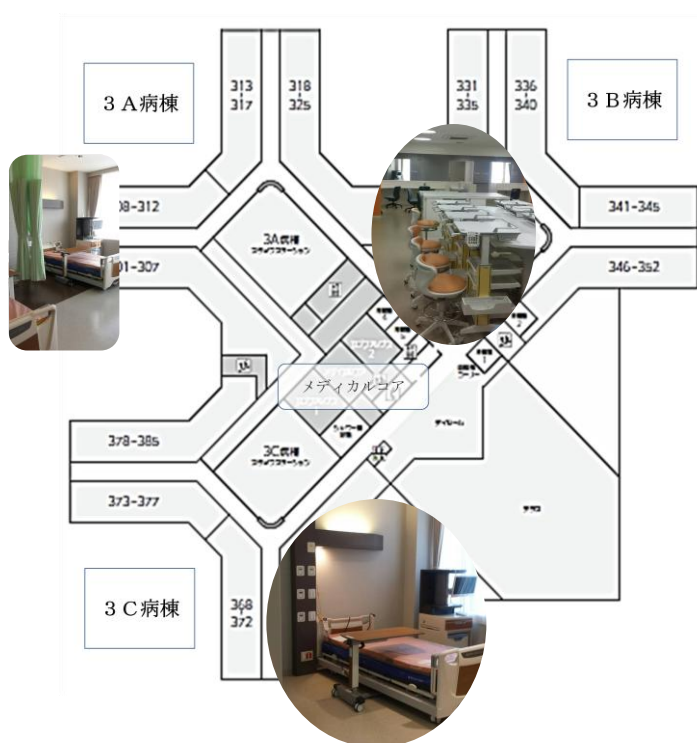
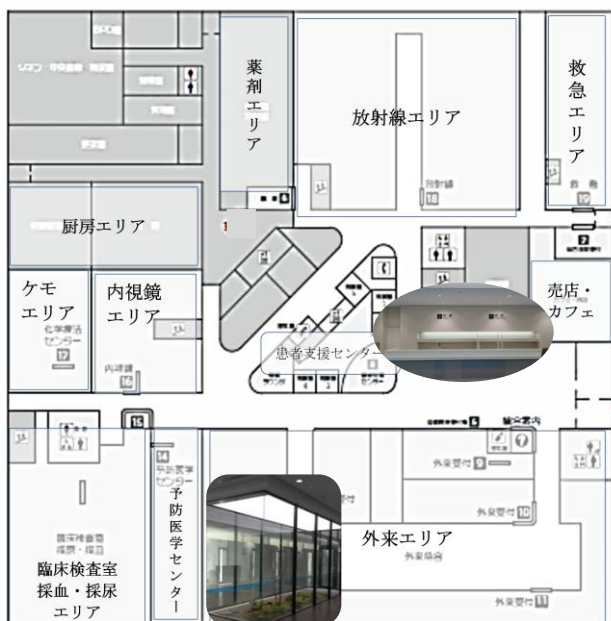
新病院のご案内



「紹介患者優先枠」について

平成 28 年 1 月より、紹介状をお持ちの患者さんは「患者支援センター」で受付をし、優先的に診察できるように配慮いたします。また、紹介状をお持ちで予約をとって頂いている患者さんは、最優先で診察が受けられるように配慮いたします。予約のとれる診療科は、内科、神経内科、循環器内科、もの忘れ外来です。医療連携室内にある予約専用ダイヤルにお電話ください。

☎0285-36-0254



脳卒中センター

脳卒中センターでは、専門チームが、脳卒中の集学的治療を 24 時間体制で提供します。

センターの紹介

脳卒中は時間との戦いです。当院は迅速かつ高度な医療を提供するため、栃木県内で初めて脳卒中ケアユニット (SCU: Stroke Care Unit) を要する脳卒中センターを開設します。

基本方針

・脳卒中ホットライン (脳卒中専用 PHS)

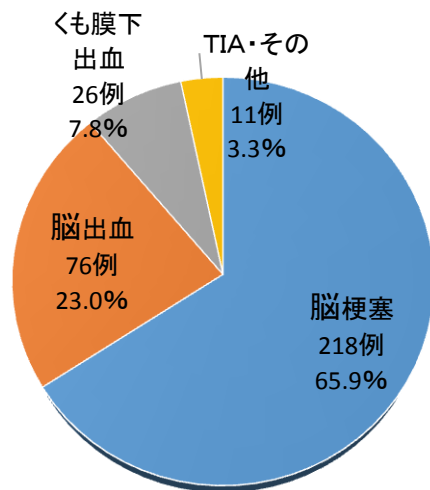
当院では、救急隊、および連携医療機関からの脳神経疾患の診療依頼に対して、24 時間 365 日、専用の脳卒中ホットラインで脳卒中医 (神経内科/脳神経外科) が直接対応します。小山市だけでなく、野木町、下野市、栃木市などの周辺地域、さらに結城市、筑西市、古河市などの他県からの救急も広く受け入れます。

・脳卒中ケアユニット (脳卒中専用治療室、SCU)

脳卒中ケアユニットとは、脳卒中急性期の患者さんを、専門チームが協力して診療を行う脳卒中専用治療室のことです。当院は 2016 年 1 月より、栃木県内で初めて脳卒中ケアユニットを管理運営する施設になります。専門チームは、脳卒中専門医、神経内科医、脳神経外科医、循環器内科医、リハビリテーション技師、放射線技師、看護師、医療ソーシャルワーカーで構成され、それぞれの専門知識や技術をいかして連携し、患者さんに最適な急性期治療を行うとともに、回復期や慢性期の治療に至るまでの円滑な移行をサポートします。

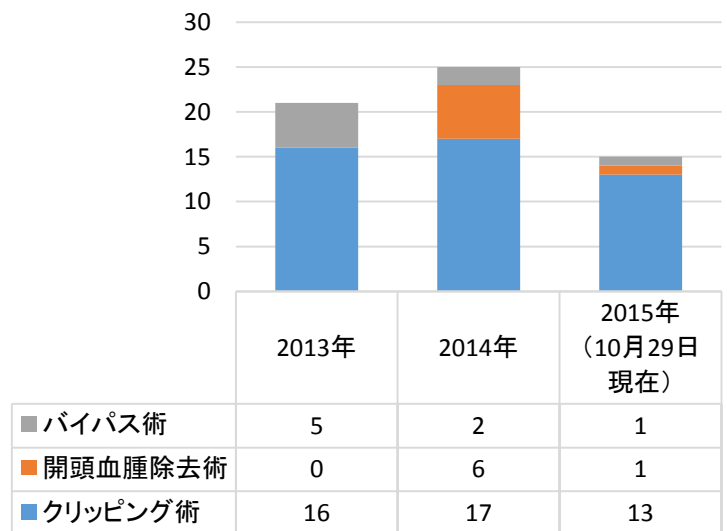
診療実績

昨年 1 年間の急性期脳卒中の入院患者数は 331 例、超急性期脳梗塞の血栓溶解療法 (TPA 静注療法) は 18 例、過去 3 年間の脳卒中の外科手術を下記の通り行いました。



脳卒中331例の内訳

脳卒中術式別件数



「脳卒中センターホットライン」について

平成 28 年 1 月より、「脳卒中センター」開設と同時に、「脳卒中ホットライン」が稼働します。脳卒中 (疑い) の患者さんにつきましては、直接ホットラインに電話してください。

ホットライン : 070-2167-3690

※ 脳卒中ホットラインは、医療従事者専用です。





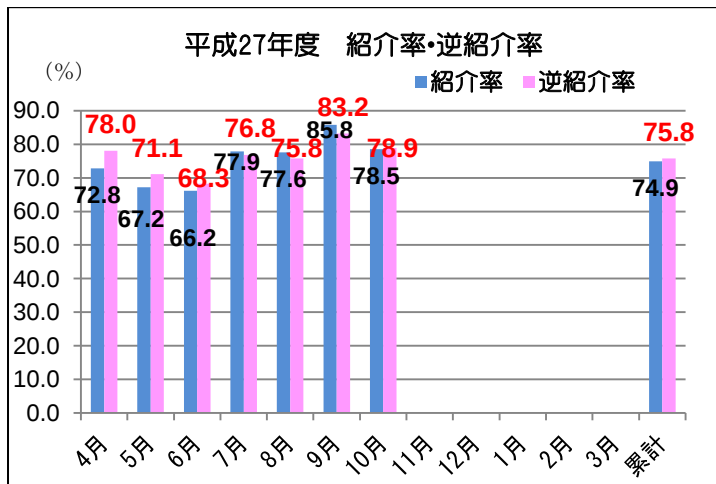
医療連携室からのお知らせ

○ 医療連携実績報告

・ 紹介・逆紹介について(平成 27 年度 4 月～10 月)

(人)

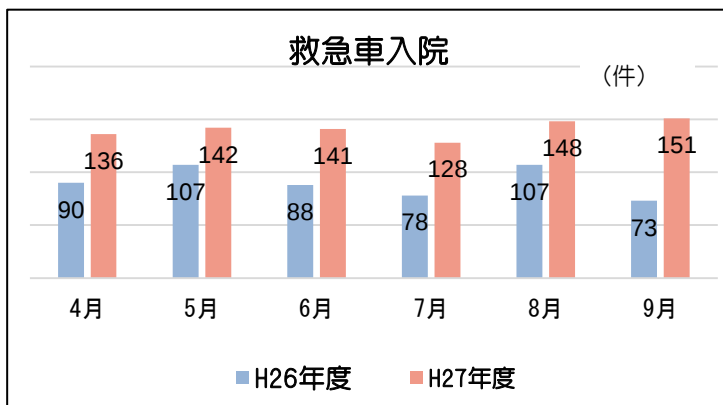
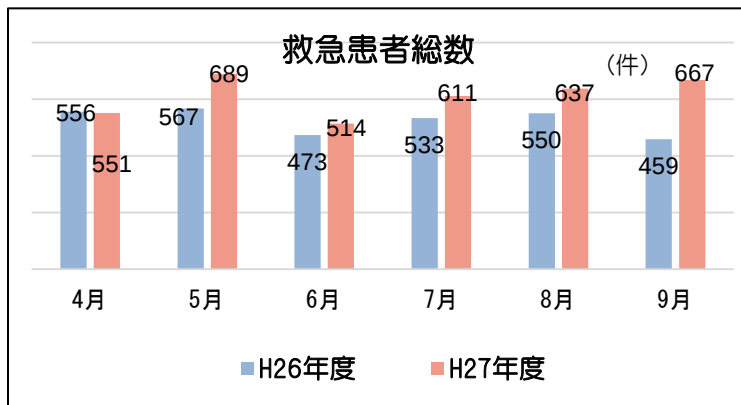
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
初診患者数	1,043	1,071	1,374	1,229	1,156	1,025	1,295
紹介患者数	759	720	909	957	897	879	1,017
逆紹介患者数	814	761	938	944	876	853	1,022



・施設の共同利用について(平成 27 年度 4 月～9 月)

項 目	件 数
コンピュータ断層撮影(CT)	147 件
磁器共鳴コンピュータ断層撮影(MRI)	194 件
X 線骨密度測定	0 件
内視鏡検査(胃カメラ)	31 件
超音波検査(腹部エコー・心エコー)	6 件

・ 救急受け入れについて(平成 26 年度・平成 27 年度比較)



「患者支援センター電話番号」変更について

病院移転に伴い、患者支援センター内の電話番号が次のように変わります。

◇ 医療連携室 : 0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・その他地域連携に関すること)

◇ 予約専用ダイヤル: 0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・神経内科・循環器内科の受診予約・胃カメラ・心エコー・腹部エコーなどの検査予約)

◇ 医療相談室 : 0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関すること・MSW に連絡・その他、外来患者の各種相談に冠すること)

◇ FAX : 0285-36-0352

◇ メール renkei@hospital.oyama.tochigi.jp ※メールでも受付しております。

移転後は不慣れな為、ご迷惑をおかけしますが、どうぞ宜しくお願い致します。

